

水神様に祈る

今年は、年明けから好天に恵まれ暖かい日が続いて誠に結構なことです。一方で、私共農業用水を管理している者にとって、山に十分な雪が積もらないと春からの農業用水の供給が滞る事態も想定され、痛し痒しの面があります。今後の天候に期待したいものです。

先人は、川にダムを造り用水路を整備し、取水の安定と送水・配水の合理化を図ってきました。また、近年では水利の状況を監視・操作する施設整備や正確な気象情報の把握等の確な管理体制の構築にも力を注ぎ、用水不足や洪水などのリスクの最小化に努めてきました。

しかしながら、一生懸命に努力もし万全の体制を整えていても、干天や豪雨などの異常気象は発生し、それによって何らかの被害が起きているのも事実で、リスクをゼロにすることは不可能です。

私たち用水管理者は、今後も農業用水の適正な管理に尽力すべきですが、神という自然に寄り添い、自然に感謝し、自然と折り合いをつけてきた先人の知恵（文化）を引き継いでいくことも大切なことと思っています。

1月4日には、今年も平穏な一年でありますよう組合員の願いを込めて、庄西用水土地改良区の用水神社で歳旦祭が開催されました。

